

英国プロビデンス号 来航の解説板設置

江戸幕府の蝦夷地直轄支配の引金になったともいわれる、イギリスのプロビデンス号の虻田来航を記念する解説板の設置除幕式が、11月25日道の駅あぶたトレイルセンターで行われました。

1796年にイギリスの探検家プロートン率いるプロビデンス号が虻田に来航し、上陸。当時のアイヌ民族や和人と交流したことが明らかになっていません。

虻田郷土研究会では、この歴史的事件を長年にわたり研究

し、町の歴史として町民に知ってもらおうと活動を重ねてきました。

町では、このような同研究会の地道な活動とサミット開催が決定し、国際交流が意識される中で、国際交流のさがけとなったこの事実の重要性を知ってもらおうと案内板設置を決めました。

当日は、郷土研究会の会員ら約40人が参加し、噴火湾を見下ろす絶景の場所に建てられた解説版の完成を祝いました。

岡田光弘会長は「サミットが開かれる地で日本の開国につながったプロビデンス号の解説板ができたことは意義深い。来年のサミット成功に向け奮闘したい」と祝いの言葉を述べました。



プロビデンス号来航の解説板設置除幕式

中学生・税の作文表彰

見事5人が入選果たす

全 国納税貯蓄組合が主催する平成19年度中学生の税についての作文コンクールで、

虻田・洞爺湖温泉中学校の2校から5人が入選を果たし、11月7日に、両校にて表彰式が行われました。

このコンクールは、税に対する正しい理解とその意識を浸透させようと毎年行われているもので、2校から190編もの作文応募があり、厳選

な審査の結果、次のとおり入選者が決まりました。



西胆振地区納税貯蓄組合連合会優秀賞
刀川あかりさん
(虻中3年)



西胆振地区納税貯蓄組合連合会長賞
桑島 小幸さん
(温中2年)



洞爺湖町教育長賞
永井 舞花さん
(虻中1年)



洞爺湖町長賞
伊藤 菜央さん
(虻中3年)



西胆振地区納税貯蓄組合連合会優秀賞
岩間 文香さん
(虻中2年)

今年友好都市提携をした香川県三豊市へ11月22日～25日の日程で、当町からとうや小学生14人と引率2人の計16人が訪問しました。

旧洞爺村と旧財田町との間で長年フレンドリーツアーとして小学生同士の交流を続けてきましたが、お互いの合併により、洞爺湖町と三豊市として、あらたに提携し、今回が第1回目の訪問となりました。

友好都市提携後初の三豊市訪問 四国の文化を吸収

一行は、7月に当町を訪れた児童らと再会。いっしょに讃岐うどんづくりやみかん狩りなどを体験し、四国こんぴら歌舞伎の舞台上で国指定重要文化財の金丸座やこんぴらさんなどを見学し、北海道と違った文化を吸収してきました。



自分たちが作ったうどんを試食する児童ら